



2022年5月13日

各 位

会社名 戸田工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 寶來 茂
(コード番号 4100 東証プライム)
問合せ先 経営企画室長 友川 淳
(TEL. 082-577-0055)

通期連結業績予想と実績との差異及び

営業外収益並びに特別損失の計上に関するお知らせ

2022年2月8日に公表しました2022年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2022年3月期におきまして、営業外収益及び特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想と実績の差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 34,500	百万円 2,200	百万円 3,400	百万円 2,300	円 銭 399.01
実績値 (B)	35,332	2,519	4,184	3,116	540.59
増減額 (B-A)	832	319	784	816	—
増減率 (%)	2.4	14.5	23.1	35.5	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	29,024	11	△600	△4,142	△718.76

差異の理由

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、2022年2月8日付「営業外収益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしました。その後、基幹事業である磁石材料及び着色材料を中心に需要が想定以上に高まり、好調に推移いたしました。加えて、ニッケル及びコバルトの相場が想定以上に高騰したことにより、電池関連材料の製造を営んでいる当社の子会社においても製品価格が相場に連動して上がりました。以上のことから、売上高及び営業利益は前回発表予想を上回りました。

また、営業外収支において、リチウムイオン電池用正極材料の製造及び販売を営んでいる持分法適用関連会社の収益が好調に推移したこと及び為替が円安に振れたことによる為替差益を計上したこと等により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回りました。

2. 営業外収益の計上

第3四半期連結累計期間において持分法による投資利益1,069百万円を計上していましたが、その後の持分法適用関連会社の利益計上により、当第4四半期連結会計期間において持分法による投資利益450百万円を計上した結果、当連結会計年度において持分法による投資利益1,520百万円を営業外収益に計上いたしました。

また、第3四半期連結累計期間において為替差益33百万円を計上していましたが、その後の為替相場の変動により、当第4四半期連結会計期間において為替差益117百万円を計上した結果、当連結会計年度において為替差益151百万円を営業外収益に計上いたしました。

3. 特別損失の計上

当第4四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である戸田アドバンストマテリアルズINC. が保有する電子素材事業の固定資産について収益性の低下が見られるため、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失178百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上